

いばらきネットモニター 茨城県の自然観察施設に関する意識調査

(茨城県奥久慈憩いの森, 茨城県民の森等, 茨城県水郷県民の森)

1 調査の概要

(1) 調査形態

調査時期：令和元年8月19日(月)から令和元年9月1日(日)まで

調査方法：インターネット(アンケート専用フォームへの入力)による回答

いばらきネットモニター数 627名

回収率：41.9%(回収数263名)

回答者の属性:(百分率表示は小数点以下第二位を四捨五入しているため,個々の比率の合計は100%にならない場合がある)

		人数(人)	比率(%)
全体		263	100.0
性別	男性	141	53.6
	女性	122	46.4
地域別	県北	26	9.9
	県央	85	32.3
	鹿行	14	5.3
	県南	85	32.3
	県西	21	8.0
	県外	32	12.2
年齢別	10歳代	0	0.0
	20歳代	9	3.4
	30歳代	44	16.7
	40歳代	56	21.3
	50歳代	74	28.1
	60歳代	43	16.3
	70歳以上	37	14.1
職業別	自営業	16	6.1
	会社員	90	34.2
	団体職員	8	3.0
	公務員	8	3.0
	主婦・主夫	66	25.1
	学生	1	0.4
	無職	49	18.6
	その他	25	9.5

(2) 調査目的

現状の施設の認知度や利用状況,印象,潜在的なニーズ等を調査し,今後の管理・運営の参考とすることを目的とします。

担当課：茨城県農林水産部林政課(森づくり推進室)

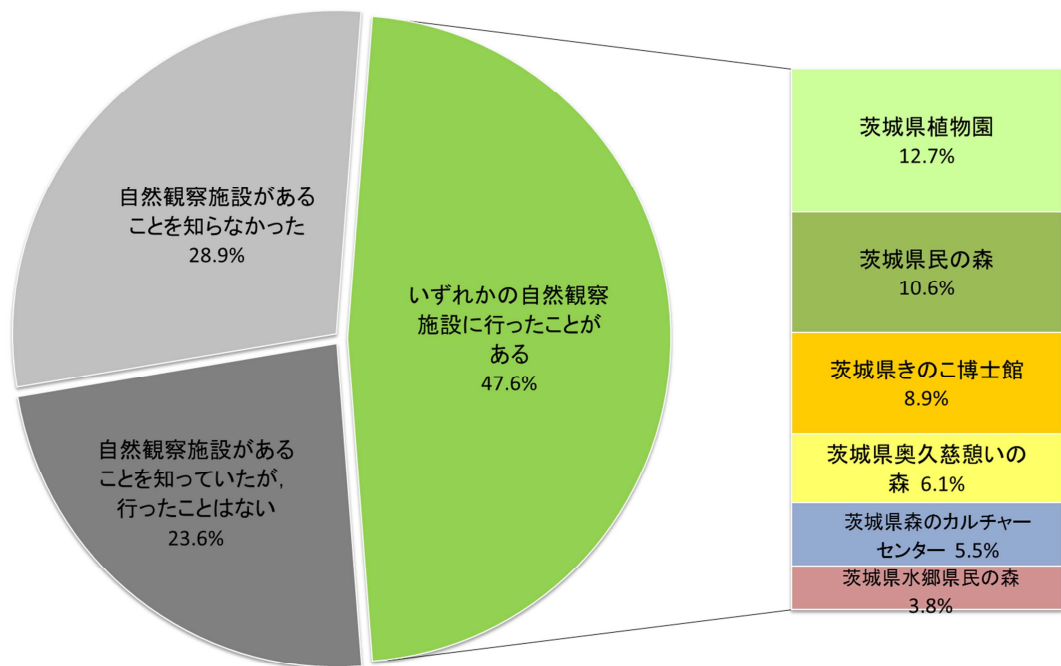
電話：029-301-4021

E-Mail：[rinsei3@pref.ibaraki.lg.jp](mailto:rinsei3@pref.ibaraki.lg.jp)

## 2 調査結果の概要と考察

【問1】次の自然観察施設（ ）で、あなたが行ったことがある施設はありますか（複数回答可）。

自然観察施設とは：県民が自然に親しみつつ、休養し、自然に関して学習する場として、県が設置する施設。



自然観察施設の認知度、利用経験及び利用したことがある自然観察施設

自然観察施設の認知度（回答者全体に占める、一つ以上の施設を選択した者及び「自然観察施設があることを知っていたが、行ったことはない」と回答した者の割合）は約7割であった。また、回答者全体の約半数はいずれかの自然観察施設に行ったことがあり、内訳を見ると、那珂市に所在する「茨城県植物園」や「茨城県民の森」に行ったことがあるという回答者が多かった。



居住している地域別の自然観察施設の認知度

居住地別で比較すると、県央や県北に居住する回答者で認知度が高く、施設の所在地から離れた地域では、認知度が伸び悩んでいることがうかがえた。

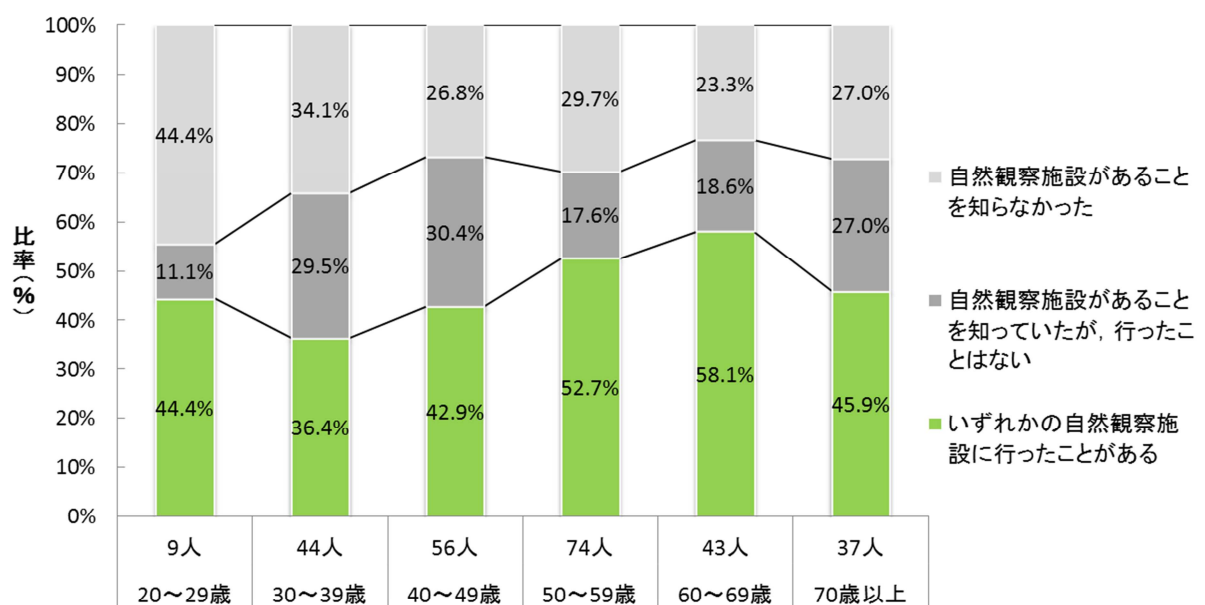
補足：自然観察施設の所在地

<p><u>那珂市</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 植物園</li> <li>・ きのこ博士館、</li> <li>・ 県民の森</li> <li>・ 森のカルチャーセンター</li> </ul> <p>那珂市の施設を総称して「茨城県民の森等」という。</p>	<p><u>潮来市</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水郷県民の森</li> </ul>	<p><u>大子町</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 奥久慈憩いの森</li> </ul>
---	--	---

男女別や年齢層別の認知度については、顕著な差は見られなかったが、50～60歳代の回答者では、5割以上がいずれかの自然観察施設に行ったことがあると回答しており、比較的中高年の利用率が高いことがうかがえた。

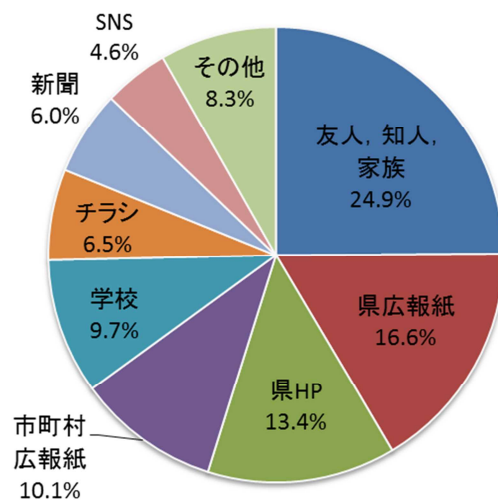
男女別の認知度

	男性 (N=141)	女性 (N=122)
いずれかの自然観察施設に行ったことがある	49.6%	45.1%
自然観察施設があることを知っていたが、行ったことはない	22.0%	25.4%
自然観察施設があることを知らなかった	28.4%	29.5%



年齢層別の自然観察施設の認知度

【問2】(問1で施設に行ったことがあると回答した方にお伺いします)  
 あなたはその施設を、何をきっかけに知りましたか(複数回答可)

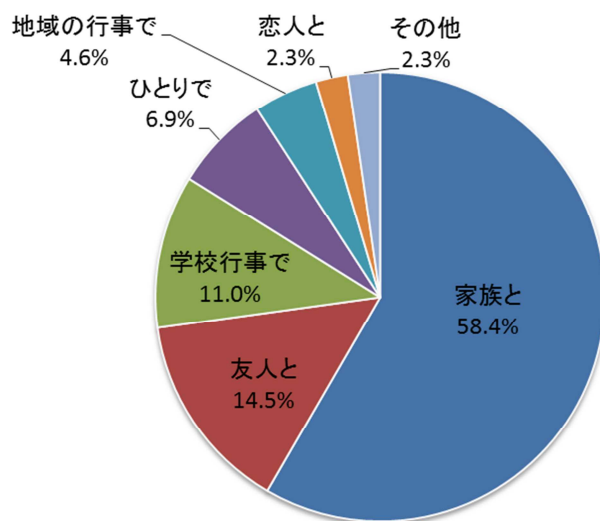


自然観察施設を知ったきっかけは、「友人、知人、家族」が最も多かったが、「県広報紙」や「県HP」を通じての広報にも一定の効果があることがうかがえ、今後もこれらの媒体を活用して情報発信することで、利用者数の増加に繋がると考えられる。

一方、近年年齢層を問わず利用率が増加している「SNS」を通じて本県の自然観察施設を知った回答者は5%未満にとどまったことから、県民に気軽に施設の情報に触れてもらい、また、その情報の拡散を図るため、今後はSNSを活用したPRについてもより積極的に行っていく必要があると思われる。

「その他」としては、「学童保育」「ドライブで通りがかった」などが挙げられた。

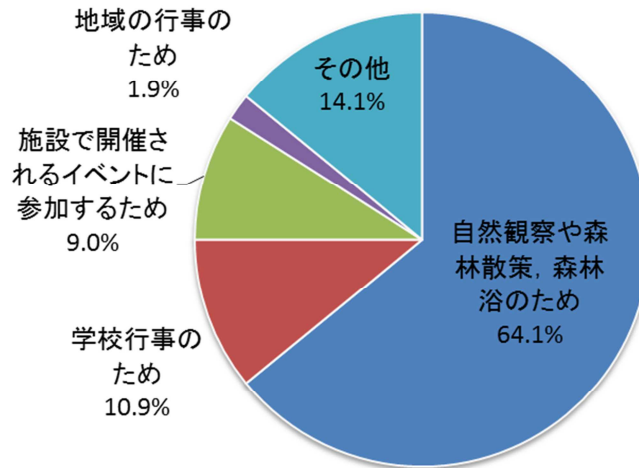
【問3】(問1で施設に行ったことがあると回答した方にお伺いします)  
 あなたはその施設に誰と行きましたか(複数回答可)



約6割の回答者が「家族と」行ったと回答しており、家族で楽しめる展示やイベントの開催、施設整備へのニーズが高いと考えられる。

【問4】(問1で施設に行ったことがあると回答した方にお伺いします)

あなたがその施設に行った目的は何ですか(複数回答可)。具体的な内容についても記入してください。



6割以上の回答者が「自然観察や森林散策, 森林浴のため」と回答した。

「学校行事のため」の具体的な内容として、「遠足」「校外学習」「写生会」などが挙げられた。

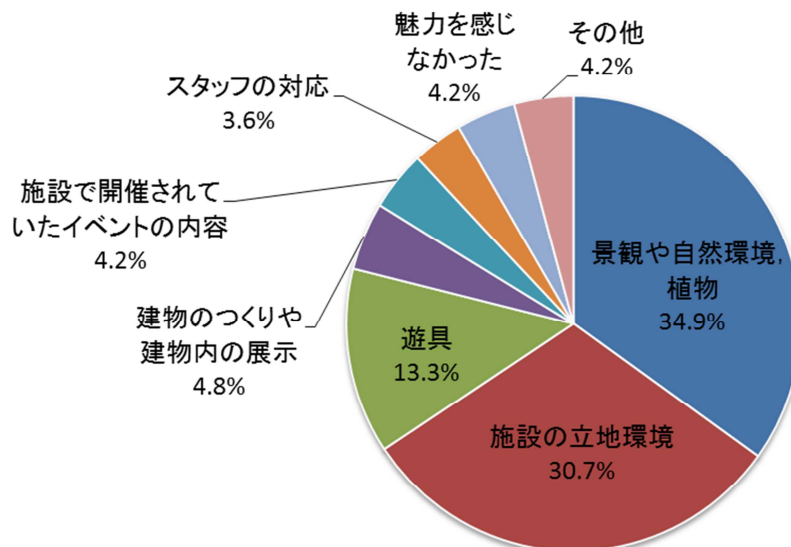
「施設で開催されるイベントに参加するため」の具体的な内容として、「ナイトガーデン」「食虫植物展」「ひょうたんランプ展」「ハロウィン」「アロマのワークショップ」「コスプレイベント」など、多くのイベントが挙げられた。

「地域の行事のため」の具体的な内容として、「子供会行事」が挙げられた。

「その他」としては、「子どもを遊ばせる」「ウォーキング」「毒キノコの判別」などの回答があった。

【問5】(問1で施設に行ったことがあると回答した方にお伺いします)

あなたは、施設のどこに魅力を感じましたか(複数回答可)。具体的な内容についても記入してください。



「景観や自然環境，植物」に魅力を感じた回答者が最も多く，次いで「施設の立地環境」「遊具」となった（立地については，施設に行ったことがある回答者の中に，利用率の高い茨城県民の森や植物園に比較的近い，県央居住者が多かった影響と思われる）。

魅力を感じた「景観や自然環境，植物」の具体的な内容については，「散策路を歩きながら四季を感じられる」「自然の植物に触れてリラックスできる」「安全で清潔なので，安心してごろごろできる」「熱帯植物館（植物園内の施設）が面白い」「展示内容が充実している」「子どもの勉強になる」「植栽の参考になる」「花が綺麗でウォーキングに最適」「手入れが行き届いており印象が良かった」などが挙げられた。

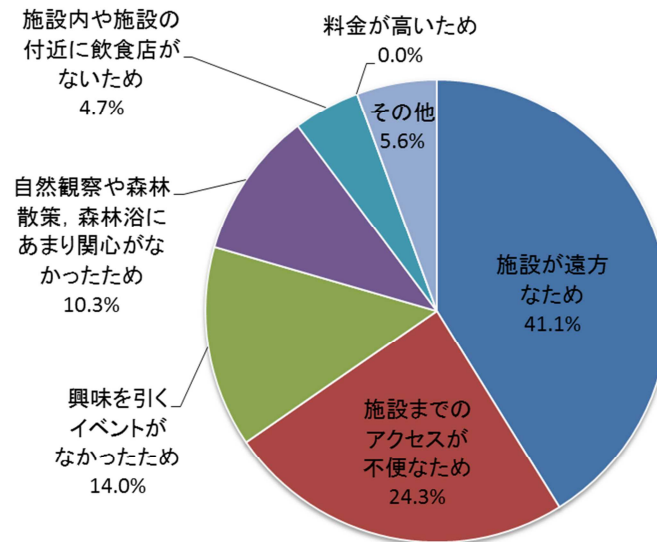
魅力を感じた「建物のつくりや建物内の展示」の具体的な内容については，「天然の木材を使った施設」「きのこ博士館の展示内容と建物は大人でも楽しめる」などが挙げられた。

魅力を感じた「施設で開催されていたイベントの内容」については，「食虫植物展」「野草観察会」「猛禽類とふれあえるイベント」「カブトムシや蝶など昆虫の観察会」などが挙げられた。

一方，「魅力を感じなかった」理由については，「常設展示が壊れている」「トイレを改善してほしい」「見所が少ない」「発展性がない」などが挙げられた。

【問6】（問1で「自然観察施設があることは知っていたが，行ったことはない」と回答した方にお伺いします）

これまで行ったことがなかった理由は何ですか（複数回答可）。



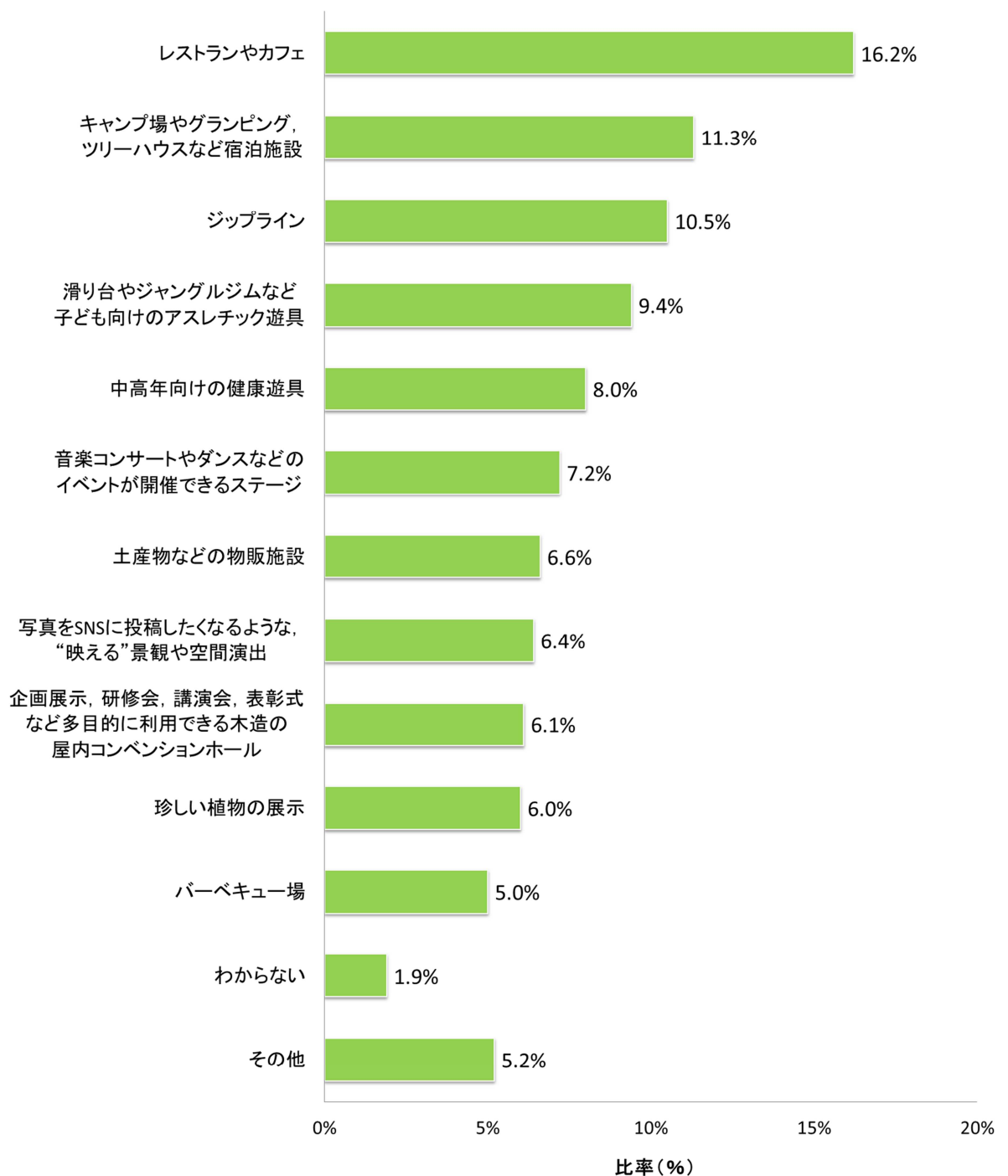
これまで行ったことがなかった理由については，施設の立地やアクセスを挙げた回答者が半数以上を占めた。また，14%の回答者は，「興味を引くイベントがなかったため」と回答しており，こうした層にアプローチできる，既存の枠にとらわれない新たなイベントの企画やPRの方法についても検討すべきと思われる。

一方，「自然観察や森林散策，森林浴にあまり関心がなかったため」との回答は全体の1割にとどまったことから，回答者の自然とふれあう体験への関心度は決して低くはなく，豊

かな自然環境を活かした施設の再整備や、興味を引かれる魅力的なイベントの企画、広報・PRの工夫や強化により、利用者数の増加が期待できることがうかがえた。

「その他」としては、「子ども向けの施設というイメージがあるため」「施設の環境や付近の飲食店、近隣の施設などの情報が少ないため」「車椅子使用者が行きづらいイメージがあるため」などが挙げられた。

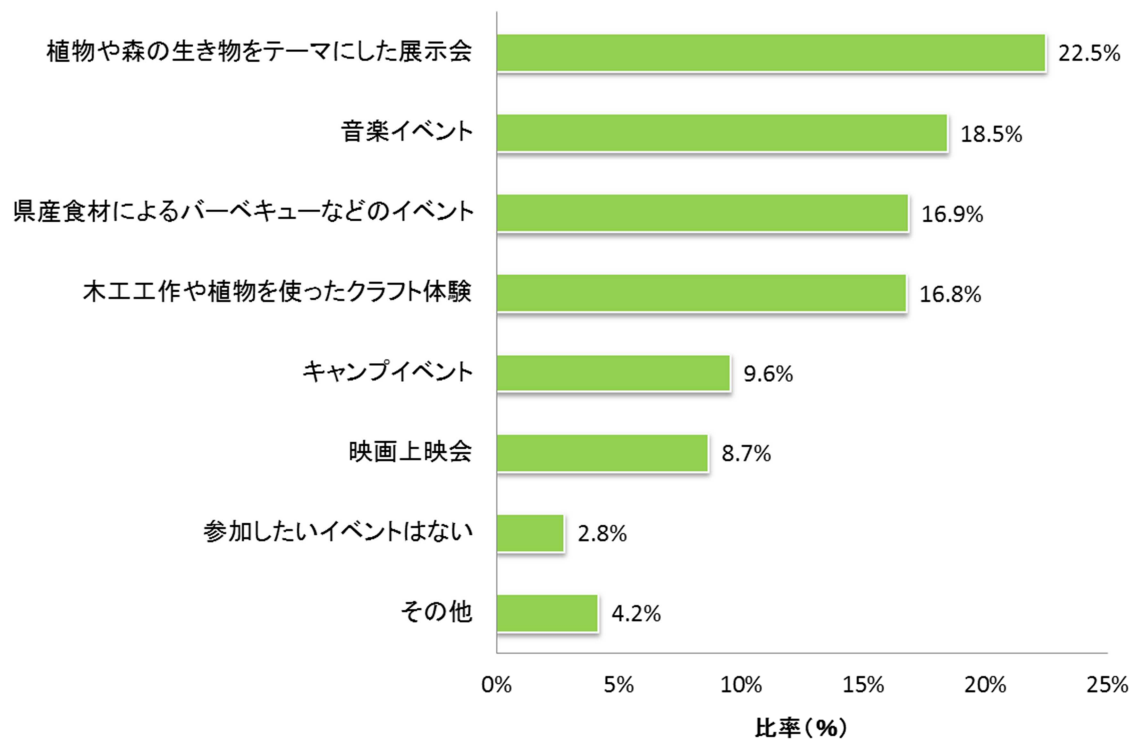
【問7】今後、自然観察施設をより多くの方に利用していただくためにリニューアルする場合、あなたは何を重点的に整備したらよいと思いますか（3つまで）



「レストランやカフェ」を設置してほしいとの回答が最も多く、飲食ができる施設の整備が求められていることが明らかになった。他に、「キャンプ場やグランピング、ツリーハウスなど宿泊施設」や「ジップライン」など、豊かな自然環境や広い敷地を生かしたアウトドア体験が楽しめる施設についても、整備の要望が多かった。

「その他」としては、「温泉施設」、「ゆったりと足を伸ばして寝ころび、空や風、緑を感じられるチェア」、「ふれあいタイムのあるミニ動物園」、「多目的トイレ」、「授乳室」などの意見があった。

【問8】あなたが、自然観察施設で開催していたら参加したいと思うイベントについて、次の中から選んでください（複数回答可）。



参加したいイベントについては、「植物や森の生き物をテーマにした展示会」「音楽イベント」「木工工作や植物を使ったクラフト体験」を選んだ回答者が多かったが、自然観察施設の中には、こうしたイベントが既に実施されている施設もあるため、これら既存のイベントの広報・PRを工夫、強化したり、内容を充実させることで、利用者数の増加に繋げることができると考えられる。一方、「県産食材によるバーベキューなどのイベント」についても多くの回答者が関心を寄せており、こうした新たなイベントを企画することで、多くの県民に施設を知ってもらい、それをきっかけとしてその後のリピーターとしての利用にも繋げられる可能性があることが明らかになった。

「その他」の回答からは、「子どもだけが参加するキャンプ」「初心者向けのキャンプイベント」など、県内で気軽にキャンプを楽しむことへの関心の高さがうかがえたほか、「星空観望会」、「プロジェクションマッピング」など夜間の利用を想定したものや、「出会い（カップリング）企画パーティ」などの意見が挙げられた。



【問9】自然観察施設について、お気づきの点などがありましたら、自由にご意見をお聞かせください。(50文字以内)

「幼児から高齢者までの幅広い年齢層が楽しめる施設にしてほしい」

「一施設だけでなく、その地域の総合的な施設情報を広報してほしい」

「トイレとベンチを多く設置してほしい」

「どの施設にも魅力を感じるが、車を運転できない高齢者には行きにくい」

「口コミが集客に重要な役割を担っているので、特に若い人が訪れたいくなり自慢したくなるような魅力が必要」

「乳幼児連れに優しい施設にしてほしい」

「イベントを考えるより、気軽に立ち寄りたくなるにはどうすればよいのか考えた方がよい」

「行ったことがなかったので、この機に子どもたちを連れて行ってみようと思います」

そのほか多数のご意見をいただきました。(91件)